

授業科目名	スポーツ史特殊研究		授業形態	講義	授業科目区分	専門科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	山田 理恵				補助担当者名	
単位数	2 単位		履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	各時代、各社会において、スポーツは人間にどのように関わってきたのか、またそれはどのような意味をもつものであったのか、というようにスポーツを歴史的に論じることによって、現代の日本におけるスポーツに関する諸課題を検討し今後のスポーツを展望するうえでの有効な資料や手がかりを得ることができる。本講義では、スポーツ史研究の国際的な動向を分析するとともに、近代スポーツの功罪や伝統スポーツの特質などを考察し、21世紀における望ましいスポーツの在り方を考究する。					
成績評価の方法	□ 学期末試験の成績（％） ■ 出席状況（30％） ■ 授業への取り組み状況（30％） ■ レポート等の提出状況（40％） を総合的に評価する。					
成績評価の基準	随時実施する小レポートや課題の成績、授業に対する積極的な取り組み方等を総合的に評価する。					
テキスト、教材 参 考 書	スポーツ史研究に関連する国内外の著名な文献を適宜用い、必要に応じて資料を配付する。 参考書：山田理恵『俘虜生活とスポーツ - 第一次大戦下の日本におけるドイツ兵俘虜の場合 - 』（不昧堂出版、1998年） その他の参考書は適宜紹介する。					
履修条件・ 関連科目	「スポーツ史特殊研究演習」と併せて履修することが望ましい。			備考(教員メッセージ含む)		
オフィス・アワー	随時（705研究室）					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	山田 理恵	スポーツ史研究の目的と意義			参考書・資料等の復習および予習	
2	〃	スポーツ史研究の変遷と現状：日本の場合			参考書・資料等の復習および予習	
3	〃	スポーツ史研究の変遷と現状：諸外国の場合			参考書・資料等の復習および予習	
4	〃	問題意識と研究の進め方			参考書・資料等の復習および予習	
5	〃	先行研究の検討			参考書・資料等の復習および予習	
6	〃	史料の収集と史料批判			参考書・資料等の復習および予習	
7	〃	近代社会の成立とスポーツの展開：ドイツの場合			参考書・資料等の復習および予習	
8	〃	近代社会の成立とスポーツの展開：イギリスの場合			参考書・資料等の復習および予習	
9	〃	近代オリンピック大会の展開			参考書・資料等の復習および予習	
10	〃	近代日本における欧米スポーツの移入と展開			参考書・資料等の復習および予習	
11	〃	世界大戦とスポーツ			参考書・資料等の復習および予習	
12	〃	伝統スポーツ：日本の場合			参考書・資料等の復習および予習	
13	〃	伝統スポーツ：諸外国の場合			参考書・資料等の復習および予習	
14	〃	21世紀におけるスポーツの展望			参考書・資料等の復習および予習	
15	〃	まとめ			参考書・資料等の復習	
16	〃	学期末試験は行わない。				